

地震動予測地図の活用に関する議論の進め方

平成14年 6 月27日

1 . 「試作版」で提示された想定される活用方法

地震に関する調査観測関連

- 地震に関する調査観測の重点化の検討

地震防災対策関連

- 地震防災対策強化の重点化の検討
- 防災計画立案のための対象地震の検討

土地利用関連

- 重要施設等各種施設の立地の検討
- 企業立地のリスクの検討
- 土地利用の誘導の検討

耐震基準関連

- 施設・構造物の地域別の耐震基準設定における地震荷重レベルの検討
- 個別の施設・構造物の目標耐震性能の設定に際しての判断材料

地域住民関連

- 地域住民の地震防災意識の高揚

2 . 活用の仕方

複数の数値（ランク）を比較し優先度の指標として活用
数値そのものを基準等に活用

3 . 今後の議論の進め方

調査観測関連については、調査観測計画部会での検討に基づき、昨年 8 月、重点的調査観測を推進するとの方針を決定している。「全国を概観した地震動予測地図」の作成にあわせ、今後、同部会において、重点調査観測地域（仮称）の選定等の検討を進める。

調査観測関連以外の 4 項目については、本部会において検討を行う。まずは、学識経験者（地震工学専門家、社会科学専門家等）などに提案等をお願いし、その後、当該提案等の内容を踏まえ議論を行う。

本部会の今後のスケジュールは以下のとおり。

- 6月27日 提案等
- 9月上旬 "
- 10月～ 議 論
- 来年春まで 中間整理（政策委員会へ報告 地震調査委員会へ提示）

本部会における中間整理も踏まえ、来年春に地震動予測地図ワークショップを開催する予定。